

「環境試料の多環芳香族炭化水素分析講習会」のご案内

目的

PM_{2.5}や流出油には種々の多環芳香族炭化水素（PAH）が含まれ、その中にはベンゾ[a]ピレンなど、発がん性/変異原性をはじめとする健康に影響を及ぼす作用をもつものが少なくありません。このため環境試料中の PAH 類の分析の重要性が増し、我が国でも環境基準や指針値の必要性が議論されています。そこで今回、金沢大学環日本海域環境研究センターでは、環境試料の PAH の分析方法について、初心者を対象に環境中の PAH の概論（講義）及び捕集から前処理、機器分析及び定量までの操作法（実技）を学ぶ講習会を下記の要領で開催します。

日 時： 令和 2 年 10 月 14 日（水）午前 9 時～午後 4 時 （途中 1 時間昼食休憩）

内 容：

1. 環境中の PAH の概要（講義）
2. 大気試料：①粉塵捕集方法（エアースンプラー）、②フィルターの秤量・保存方法、③フィルターからの抽出・精製方法
3. HPLC（高速液体クロマトグラフ）法：①装置構成、②移動相調製とコンディショニング、③内標準溶液、④定量の考え方

定 員： 3 人

参加費： 無料

参加ご希望の方は、氏名、所属を添えて下記申し込み先まで連絡ください。定員になり次第締め切ります。

申し込み先： 金沢大学環日本海域環境研究センター（唐寧）

電話： 076-234-4455、 メール： n_tang@staff.kanazawa-u.ac.jp